

評価基準表（共通評価）

| | |
|------|----|
| 評価項目 | 配分 |
|------|----|

| | | | | | | | | | |
|-----------|-------------|-------|-------|------|------|------|-------|------|------|
| 本人の 状態 | 要介護度 | 40点 | 30点 | | 介護度5 | 介護度4 | 介護度3 | 介護度2 | 介護度1 |
| | 行動・心理 症状 | | | | 10点 | 頻度 | 30点 | 25点 | 20点 |
| | | 非常に多い | やや多い | よくある | | | たまにある | なし | |
| | | 事項 | 5項目以上 | 4項目 | | 3項目 | 1～2項目 | なし | |
| | 5点 | | 4点 | 3点 | 2点 | 0点 | | | |

| | | | | | | | | | |
|-------------------|------------|-----|-------------|--|---|--|--------------------|------|---------------|
| 主たる 介護者の 状況 | 介護の 困難度 | 40点 | 介護者無 | 介護者有 | | | | 左記以外 | |
| | | | ○身寄り無 | ○遠距離介護 ○要介護状態 (要介護度4～5) ○長期入院 | ○通い介護 ○要介護状態 (要介護度1～3) ○病気療養中 ○高齢(80歳以上) ○就労(終日) | ○要支援状態 ○病弱 ○高齢(70歳以上80歳未満) ○就労(半日) ○障害(3級) | ○育児・看病 | | 等のため、十分な介護が困難 |
| | | | 等のため介護ができない | ○障害(1級) 等のため、極めて介護が困難 | ○障害(2級) 等のため、介護が困難 | ○障害(3級) 等のため、十分な介護が困難 | 等のため、十分な介護が困難な時がある | | |
| 40点 | 40点 | 35点 | 25点 | 15点 | 5点 | | | | |

| | | | | | | | |
|-----|------------|-----|-----|------------|------------|--------------|-----------|
| その他 | 他の要介護者等の有無 | 20点 | 10点 | 要介護者（3以上）有 | 要介護者（2以下）有 | 要支援者有 | なし |
| | | | | 10点 | 5点 | 3点 | 0点 |
| | 介護協力者の有無 | 20点 | 10点 | 協力者なし | 親族以外の協力者有 | 同居以外の親族の協力者有 | 同居親族の協力者有 |
| | | | | 10点 | 5点 | 3点 | 0点 |

(注1)「主たる介護者の状況」で「介護者無」の方は、「その他」欄の「他の要介護者等の有無」は10点で評価する。

(注2)次の施設へ入所（入院）している方で退所（退院）を求められている方は、その施設を退所（退院）した場合を想定して、評価する。

養護老人ホーム、軽費老人ホーム、有料老人ホーム、医療施設、介護保険除外施設、認知症高齢者グループホーム、介護老人保健施設、介護療養型医療施設

(個別評価)

| | | |
|-------------|-------|---|
| 個別に比較検討する事項 | 最高10点 | 次の項目を評価する <input type="checkbox"/> 居宅サービスの利用状況 <input type="checkbox"/> 介護期間の長短 <input type="checkbox"/> 介護によって生じる身体的・精神的負担 <input type="checkbox"/> 居住環境 <input type="checkbox"/> その他居宅生活の困難性 |
|-------------|-------|---|

施設用

用語の定義

(共通評価)

★ 行動・心理症状の頻度：毎日＝非常に多い、週3～4回＝やや多い、週1～2回＝よくある、月数回＝たまにある
〃 事項：行動・心理症状の該当項目数

★ 主たる介護者無＝身寄りのない方、又は同居でない親族はあるが介護は受けられない方
(親族でない方の介護を受けている方を含む)

主たる介護者有：「同居」・「別居」を問わず、介護する親族がいる方＝介護者有
(各区分の複数にあてはまる場合は、配点の高い方で整理する)

1 (40点)：遠距離介護＝介護者の居宅まで通うのに相当の時間を要する場合であつて。通うこと自体が通常は困難
思われるような場合

要介護状態＝介護者自身が要介護認定を受けている方 (要介護度4～5)

長期入院＝現に入院しているか近い将来概ね3か月以上の入院が予定されている場合

障害＝障害の等級が1級 (障害の種類を問わず)

2 (35点)：通い介護＝介護者が通って介護している方で遠距離介護に該当しない方
(ただし、同町内など近接地に居住する方を除く)

要介護状態＝介護者自身が要介護認定を受けている方 (要介護1～3)

病气療養中＝入院は要しないが、継続的な治療を要するために介護が困難な方

(本来は入院した方が望ましいと思われるが、介護のため入院できずにいる方を含む)

高齢＝満年齢80歳以上の方

就労(終日)＝介護者が現に常勤の形態で就労している

障害＝障害の等級が2級 (障害の種類を問わず)

3 (25点)：要支援状態＝介護者自身が要支援認定を受けている方

病弱＝定期的に通院治療をすることにより介護が困難な方

高齢＝満年齢70歳以上80歳未満の方

就労（半日）＝介護者が経常的に半日程度、パート等で就労している場合
障害＝障害の等級が3級（障害の種類を問わず）

- 4（15点）：育児・看病＝就学前の養育するこどもがいる方、又は居宅内で3か月以上親族の看病をしている方
（3か月以上病院で親族の付添をしている方を含む）

★ その他

他の要介護者等の有無：入所希望者以外に要介護又は要支援の親族がいる場合
介護協力者の有無：主たる介護者の協力者の有無、又は協力者の種類により加算

（個別評価）

評価基準表（共通評価）以外に個別に勘案する項目とし、1項目ごとに加算するのではなく、全体で10点満点として共通評価の点数に加算する。

- ① 居宅サービスの利用状況：現在の居所が「自宅」である方について、訪問・通所系及び短期入所系のサービスの利用状況について考慮する。（経済的な理由による利用状況も加味する）
- ② 要介護認定日以降の介護期間の長短：介護者の疲労・負担度を認定日以降判定時までの介護期間の長さにより判断する。
- ③ 介護によって生じる身体的・精神的負担：著しく負担となっている場合に考慮する。
- ④ 居住環境：在宅での待機者の場合、「自宅」の衛生面、狭あい、段差等が著しく住宅改修の余地がないものを優先とする。

施設の状況による入所者決定の調整

施設運営上、適切なサービス提供のため、調整せざるを得ない項目

- ① 性別：個室以外の居室において、空き居室の男女別による調整
- ② 認知症専用床：空き居室が認知症専門居室の場合による調整
- ③ その他：医療的措置（カテーテル、経管栄養、在宅酸素など）の施設の受け入れ状況による調整